

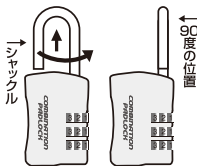
操作方法 (図は3DIALSの絵になっております)

※暗証番号リセットキーは鍵穴に差し込むと、バネの力で少し右に傾く場合がございますが機構上問題ではございません。キーを引き抜く際、少し右に傾いたままだと抜けませんので、左に動かし「本体と平行の向き」にして頂くと引き抜けます。

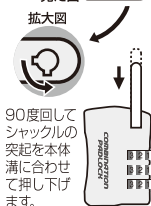
ダイヤル部・暗証番号の設定

商品開封時は「0・0・0」に設定してあります。

1 「ダイヤル部を右に見て」番号を「0・0・0」に合わせて、解錠状態からシャックルを引き上げ、手前(左回し)に90度回します。

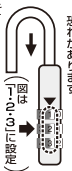


2 上から見た図



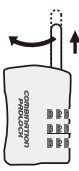
90度回してシャックルの突起を本体溝に合わせて押し下げます。

3 シャックルを押し下げると、バネの力で若干押し戻される感覚を感じますが、最後まで押し続けた状態のままで、お好みの番号に設定して下さい。



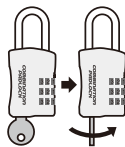
※シャックルを最後まで押し続けたい状態で番号を変更を行わないと誤って違う番号にセットされる恐れがあります。

4 シャックルを引き上げ90度戻して設定完了です。



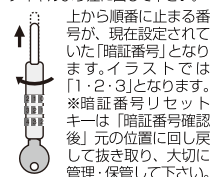
不明の暗証番号を調べる方法

1 本体底にある鍵穴に、付属の「暗証番号リセットキー」を差し込み右に90度軽く回す。



右に90度回す
※キーが90度回した位置より少しでもズレますと、ダイヤルが暗証番号で止まらずカラ回りますのでご注意ください。

2 キーが90度回った状態のまま、上のダイヤルより順番に左回りで「ダイヤルが止まる位置」まで回して下さい。※必ず一番上のダイヤルより左に回して下さい。



上から順番に止まる番号が、現在設定されていた「暗証番号」となります。イラストでは「1・2・3」となります。※暗証番号リセットキーは「暗証番号確認後」元の位置に押し戻して抜き取り、大切に管理・保管して下さい。

ご注意

- 解錠時あやまって商品を落下させない様にして下さい。
- 落下時よっての商品の破損及び、商品が落下した事よっての他の物の破損の補償は一切行いません。
- 暗証番号は個人の責任において忘れない様管理して下さい。
- 暗証番号忘れ及びリセットキー紛失よって解錠が出来ない場合やその他の解錠に要する暗証番号の問い合わせには一切お答え出来ません。
- 分解、改造をしないで下さい。また、投げたり乱暴に扱わないで下さい。故障の原因となります。製品の修理はお受け出来ませんのでご注意ください。
- 防水加工されておりませんので十分ご注意ください。
- 本商品は盗難防止に絶対的な鍵ではございません。盗難等の事故、犯罪、トラブル等が発生いたしましても当社は一切の補償、弁償等を行いません。
- 番号を頻繁に変更されると、番号をお忘れになる場合がございますのでご注意ください。尚、番号不明よる返品はお受け出来ません。
- 本商品を「解錠状態」で「使用場所に掛けたまま」にしていたり、「使用せず保管」しないで下さい。設定した暗証番号のままにしていると暗証番号が第三者に知られたり、変更される場合があり不正解錠の原因になります。
- 内部機構の設計は「単純」な物の為、ご使用中勝手に番号が変わる事はございません。